

プレゼン研修会

6月5日に、プレゼン力向上研修を行いました。中山善晴氏（株式会社ワイズリーディングCEO、熊本大学医学部臨床教授）を講師に迎え、20枚のスライドを1枚につき20秒で表現する「ペチャクチャ」という手法を学びました。

まずは、講師の中山さまが、自己表現と仲間作りの大切さや、相手にわかりやすいプレゼンとは何かを説明。その後、全学年4人1組となって、付箋紙をスライドとみたとて、以下の①～③のいずれかのテーマで、20枚×20秒のプレゼンづくりに取り組みました。

- ①附属中学校の魅力とは
- ②よりよい探究とは
- ③メンバーの一人を紹介

どのグループも熱心に話し合いながらプレゼンづくりに取り組み、大盛り上がりでした。今後、探究活動はもちろん、各教科での学びにも活かすことができる、貴重な時間でした。

12月10日、全校一斉に探究学習発表会を行う予定です。今回の研修の成果が発揮され、質の高い発表会になることを期待しています。



グループでのプレゼンづくり



1年代表プレゼン



2年代表プレゼン



3年代表プレゼン

響きあい学習会

6月6日に、2年1組で全職員が参加して理科の研究授業を行いました。同時に各クラスの学習リーダー会の生徒が授業を参観し、授業後に検討し合う「響きあい学習会」も行いました。

研究授業だけでなく、本校ならではの「響きあい学習会」、何度見ても興味深い内容です。

響きあい学習会では、全職員と学習リーダー会生徒と授業クラスの生徒が4人1組でグループをつくり2会場に別れて議論しました。学習リーダー会の司会進行のもと、「より良い主張につながる批判的思考とは？」という議題のもと、意見交換。「結果に満足せず、問い返したりしてみること」「いろいろな視点から見るのが大切」「批判的思考が論破にならないように意識を」等の意見が出されました。学習リーダー会の1年生も、自分の言葉で感想や意見を述べているのに感心しました。

今後は、この議論を整理して各クラスで共有することで、より充実した活気ある授業となることを期待しています。



☆学習リーダー会が授業を見るPOINT

【視点】

- ・主張、根拠、理由付けが論理的か
- ・生徒の考えが筋道立って説明されているか
- ・批判的思考が見られるか（探究型対話モデルstep2）
- ・反論、問い返し、吟味などが行われているか
- ・多様な意見が尊重、活用されているか
- ・異なる意見が比較、整理されて思考が深まっているか



良かった点
・具体的な場面や発言
課題
・具体的な改善点

学びは今後どのような活動をしていく必要があるのだろうか。

実験の様子を参観する
学習リーダーの1年生



職員、学習リーダー、
授業クラスの話合い

